

令和4年6月17日

議会議長 加藤 常夫 様

総務建設委員会

委員長 長澤 務

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

1 開催日時 令和4年4月26日（火）午前9時00分

2 委員の出席状況 委員全員出席

3 調査事項

（1）函南町公共施設等総合管理計画について

平成29年に策定された函南町公共施設等総合管理方針において、長期的な視点を持った公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的とした改訂が行われ、函南町公共施設等総合管理計画が策定された。

計画は、改訂前の方針と同様の平成29年度から令和38年度までの40年間を計画期間とし、今後の上位・関連計画の見直しや、社会情勢の変化等の状況に応じて、適宜見直しを行っていく予定とされている。

計画では、公共施設の保有量の削減目標として、令和38年度までに延床面積を25パーセント削減すると掲げており、各施設の規模や配置の適正化、コスト縮減と財源確保、更新時のSDGs目標の設定や脱炭素化により、目標達成に向けた取り組みが求められる。

施設のあり方や、維持管理に係る補助制度の活用、民間活力の導入の検討を行い、適切な公共施設等のマネジメントを推進されたい。

(2) 函南町水災害対策プランについて

町の治水対策について検討する函南町流域治水検討会において、函南町水災害対策プランが令和3年度に作成された。プランでは、気候変動等による将来的な降雨量の増加を踏まえ、中長期的な対策を念頭において、令和元年東日本台風クラスの降雨に対し、内水による浸水被害を軽減するための対策メニューが取りまとめられている。

治水対策には検討、課題等も多くあり、容易に進む事業ではないが、国・県・周辺市町との連携により、水災害の被害が軽減されるよう対策を進められたい。

(3) 函南町森林整備計画について

函南町森林整備計画は、町内の森林を適切に整備していくことを目的とするもので、令和4年度から令和13年度までの10年間が計画期間として定められている。

計画に基づき、森林の施業や森林状況の管理など、町の森林整備に関する課題解決に向け、森林環境譲与税を活用した取り組みも行われる。

(4) 道の駅・川の駅の運営状況について（現地視察）

オープンから5年を迎える道の駅、3年を迎える川の駅について、運営状況等の確認と現地視察を行った。

道の駅では、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けながらも、各店舗の創意工夫や新しいテナントのオープン、イベント広場や交流室の活用により、利用者数の確保に努められている。

川の駅では、キャンプやバーベキュー、おもしろ自転車等の自主事業により、利用者数の増加に努められている。令和4年度には函南周遊プランの販売を開始し、アクティビティを付与した周遊プランによる町内の地域資源や観光資源への誘客、交流人口の増加を目指している。